

- 1 会議名 厚生・文教常任委員会協議会
- 2 日時 平成27年6月18日（木）
午前11時12分～午前11時29分
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席議員 〈委員長〉塚本 秋雄、〈副委員長〉榎谷 規子
櫻井 伸賢、鬼頭 博和、梅村 均、黒川 武、
伊藤 隆信
- 5 欠席議員 なし
- 6 説明員 市民部長、健康福祉部長、教育こども未来部長
市民窓口課長、同主幹、同主査（保険医療グループ長）
- 7 事務局出席者 議会事務局長、同主査
- 8 委員長あいさつ
協議事項（2）その他を先に協議することとする。

9 協議事項

（1）その他

特定健康診査費用助成金についての報告（市民窓口課）

市民窓口課長から、医師会と協議した結果を踏まえ、今年度は実施しないことを決定したことについて報告した。

問 市民周知において、まだ広報に掲載していないものの予算が措置されたことで要望していた市民に対し、今年度から他の市町で健診を受診でき、市から費用を助成してもらえると個々に報告している。非常に残念な結果である。来年度から検討している人間ドックについては、併せて医師会と検討していくことと思うが、どのように進んでいるか経過がわかれば教えてほしい。

答 人間ドックにつきましては、平成28年度の実施については、医師会にお話をしてご了解をいただいております。今年度に入り、具体的な相談として、健診項目の相談を進めております。

答 特定健康診査費用助成金につきましては、医師会と協議の中で、個別健診という形と医師会は捉えられております。県内の状況としては、個別健診を実施していないのは、知多市と岩倉市であります。そのデータを医師会との協議の中で参考に提供させていただいております。今年度は、困難であるということで、断られましたが、継続として医師会との協議をして

いただけますので、将来に向けて個別健診を実施していただけるのではないかと考えております。

問 個別健診を実施していないのは、知多市と岩倉市のみか。

答 そのとおりです。

問 他の市町は、集団健診と個別健診を実施しているのか。

答 そのとおりです。

(意見) 集団健診が今週から実施されている。1カ所での実施には、集中することなど、いろいろな問題が出てくると思う。昨年度から集団健診と肺がん検診が同時実施されていることで、施策としては、この間やれるところは進めているということは、当局の姿勢である。今回の個別健診が医師会との関係で齟齬が生じているために平成27年度の実施は難しいことになった。少なくとも執行機関側が利用者の利便を図ろうと受診率向上につなげようという姿勢に立ってのことと思うので、その点はそういう姿勢を持ち続けていただきたいと要望し、医師会との協議内容は文書に留めて、お互いが持ち合うことが間違いなく着実に進んでいくものだと思います。私からの意見とする。

委員長 協議会の中での当局からの報告を受け、意見としての要望もあったが、この委員会で決定はしない。予算も議決し、事業の関係もあるので厚生・文教常任委員会として報告を受けたこととして正副議長に報告し、どのように扱うかは正副議長のもとで整理をすると思う。

問 この予算は、どのようになっているのか。

答 1,008万円であります。

(2) 議長からの諮問について (別紙(写)のとおり)

委員長 政策提言の諮問を受けて、次回の協議会を開催する中で課題を絞り込むなり、閉会中の継続審査の内容が正副委員長としての案であり、1年間かけて実施していきたい。

政策提言については、協議会で協議しながら最終的に常任委員会を開催して政策提言(案)を作成して、厚生・文教常任委員会の中から本会議で提案していく形になると思う。岩倉市の状況と課題を拾っていき、問題意識の課題を出していくことで、実施していくことを確認したい。

3 その他

なし